令和８（2026）年 10 月 30 日
独立行政法人 都市再生機構 九州支社
学校法人福原学園 九州女子大学

九州女子大学×ＵＲ「団地の新しい住まい方」共創プロジェクト
学生のアイデアから生まれたリノベーション住戸　完成見学会開催

独立行政法人都市再生機構 九州支社（以下「ＵＲ都市機構」）と学校法人福原学園 九州女子大学（以下「九州女子大学」）は、平成 30（2018）年度に締結した連携協定に基づき、地域の活性化及び実践的教育を目的として、ＵＲ賃貸住宅団地において学生の提案を取り入れながら団地及び地域の魅力を高めていく取組みを進めています。

令和７・８年度の取組みとして、ＵＲ本城西団地（北九州市八幡西区）を対象に学生から住戸リノベーションプランの企画提案をいただきました。
ＵＲ都市機構では、各提案について商品価値向上効果と安全性や賃貸住宅としての事業性の両面から検証を実施し、実際の住戸において改修工事を実施しました。
次世代ならではの発想とＵＲ都市機構の住宅事業の知見を掛け合わせることで実現した住まいです。

このたび、このリノベーション住戸が完成いたしましたので、完成住戸をご覧いただくとともに、学生が地域の住まいや暮らしについて考え提案したアイデアを、実際の住戸改修に反映するまでの取組みをご紹介したく、令和８（2026）年 11 月９日（月）に完成見学会を開催いたします。
ぜひともご取材いただきたく、ご案内申し上げます。





【お問い合わせ先】
ＵＲ都市機構九州支社　総務部　総務・法務課（広報）　（電話）092-722-1004
学校法人福原学園 九州女子大学 入試広報部 入試広報課　（電話）093-693-3277

ＵＲ都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955 年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害対応支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

https://www.ur-net.go.jp/

社会課題を、超えていく。
UR都市機構
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
UR都市機構は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

北九州市八幡西区の折尾地区に位置する九州女子大学は、家政学部と人間科学部の２学部があり、家政学部には、生活デザイン学科と栄養学科、人間科学部には、児童・幼児教育学科と心理・文化学科の２学部４学科で構成されています。さらに心理・文化学科を基礎とする大学院人間科学研究科も開設しています。また、九州女子短期大学には、子ども健康学科の１学科に加えて、その進学課程である専攻科子ども健康学専攻を設置しています。
この共創プロジェクトに関わった九州女子大学 家政学部 生活デザイン学科では、
～時代が求める「豊かな暮らし」を目指して、自分と地域の未来をデザインする～
生活者の視点で家庭や学校、地域社会の課題を解決する力を養い、自分自身の夢を叶えながら、教育現場および衣・食・住・金融等の各業界で活躍できる人材を育成しています。

https://www.kwuc.ac.jp/

学校法人 福原学園
九州女子大学
九州女子短期大学

九州女子大学×ＵＲ「団地の新しい住まい方」共創プロジェクト

完　成　見　学　会　概　要

１　日　　時：令和８(2026)年 11 月９日（月）　　１０：４５～１１：４５

２　集合場所：ＵＲ本城西団地管理サービス事務所（３号棟１階）

※１０時３５分までにお越しください。



３　内覧住戸：４号棟 708 号室　「家族の時間を育む住まい」

※詳細は下記６　をご参照ください。

４　申込方法

ご取材いただける場合には、お手数ですが、別添「申込書」にて令和８(2026)年 11 月５日（木）17 時までに FAX またはメールにてお申し込みいただきますようお願いいたします。

５　プロジェクト概要

本プロジェクトでは、ＵＲ本城西団地において、「団地の新しい住まい方」をテーマとしたリノベーションを実施しました。

九州女子大学は、ゼミ活動の一環としてリノベーションプランの企画立案を実施。学生は、リノベーションの検討にあたり、現代の社会課題や対象物件の現状分析を行うとともに、多世代居住の促進に焦点を当て、複数のプランを検討・企画しました。CG モデルなどを活用しながら、改修後の住宅や暮らし方を具体的にイメージし、議論や提案発表を行いました。

ＵＲ都市機構は、提案された複数のプランの中から、「家族の時間を育む住まい」をコンセプトとしたプランに着目し、商品価値の向上効果や安全性、改修コスト、維持管理性などの観点から検証を実施しました。

双方で打合せを重ね、家族のコミュニケーションを促す空間構成や住戸の魅力向上につながるパーツの付加といった学生からの提案を活かしながら、賃貸住宅としての実現性や事業性も踏まえた改修内容の精査・調整を行い、商品化に至りました。

［主なスケジュール］

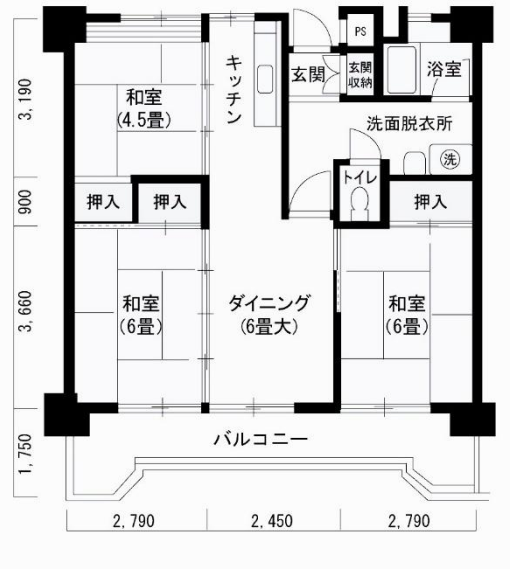
令和７（2025）年 12 月８日	従前住戸見学会
令和８（2026）年２月 16 日	中間発表
３月５日	最終発表
９月 17 日	工事進捗見学会
11 月９日	完成見学会

６　リノベーション住戸概要

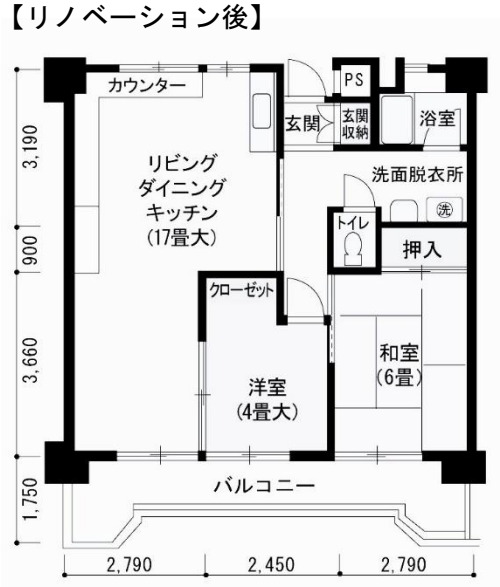
「家族の時間を育む住まい」

団地	部屋番号	型式／面積
本城西団地	４号棟 708 号室	２ＬＤＫ

【リノベーション前】



【リノベーション後】





（参考１）本城西団地　概要

住　　所：北九州市八幡西区光貞台一丁目１番及び２番

建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造８階建他

建設総戸数：253 戸

管理開始年月：昭和 52（1977）年 12 月～昭和 54（1979）年４月

（参考２）これまでの取組みについて

ＵＲ都市機構と九州女子大学は、平成 29（2017）年度より、ＵＲ梅ノ木団地（遠賀郡水巻町）をフィールドに、団地のイメージアップや入居率改善、多世代交流（改修に伴う自治会との連携）を目的とした取り組みを協働して実施してきました。

年度	実施内容	備考
H29	住戸内リノベーション２戸（学生による DIY）	
H30	自治会と連携した集会所リノベーション・イベント開催	H30.7 連携協定締結
R1	住戸内リノベーション１戸	
R2	住戸内リノベーション２戸	
R3	住戸内リノベーション２戸（R3：学生による提案→R4：施工）	
R4		
R5	団地内遊閑地の活用検討・提案	
R6	団地の住まい方パンフレット制作	
R7	フィールドを本城西団地に変更。住戸内リノベーション１戸（R7：学生による提案→R8：施工）	
R8		

<u>H30 自治会と連携した集会所リノベーション・イベント開催</u>

団地自治会・九州女子大学・ＵＲ都市機構の３者でのワークショップを踏まえて、ＤＩＹでの集会所改修を実施しました。

<u>R3・R4 住戸内リノベーション</u>

学生が自らターゲットを設定し、その人がどのような生活を送るのか、そのために必要なリノベーションは何かを考え、提案した内容を基に、ＵＲ都市機構が実際に住戸のリノベーションを実施しました。

別添

令和８（2026）年 11 月 9 日（月）九州女子大学×ＵＲ連携プロジェクト
リノベーション住戸完成見学会　取材申込書

UR 都市機構　広報担当　宛

FAX：(092-722-1019)

MAIL：t-shimasaki@ur-net.go.jp

令和８(2026)年 11 月 5 日（木）17 時　必着

・貴社名：

・ご出席者名：

・電話番号：

・E-MAIL：

・ご参加人数：

・カメラの有無：　　有（ 動画 ・ スチール ）　/　　無